

受験番号 _____ 氏名 _____

問1 次の成分を含有する植物を下記より選び、その番号を()内に答えなさい。

但し、答えは一つとは限りません。

アルカロイド (② ⑫)

サポニン (③ ⑬ ④ ⑭)

ペオニフロリン (⑤ ⑩)

クロシン (① ⑪)

複数の植物に共通して含有されている成分に気を付け、それらの植物に同様の効果が期待できることを知っておきましょう。

- ① ベニバナ ② ハシリドコロ ③ オタネニンジン ④ キキョウ ⑤ シヤクヤク ⑥ ウイキョウ
⑦ リンドウ ⑧ イノンド ⑨ トウキ ⑩ ボタン ⑪ クチナン ⑫ ベラドンナ
⑬ トチバニンジン ⑭ ミシマサイコ ⑮ センブリ

問2 次の文章の内容に誤りのあるものには○を、()内に答えなさい。

- (○) 生薬の人参と桔梗とは外形が酷似しているが、ヨウ素試薬によって桔梗の方だけが陽性を示すので
区別可能である。 キキョウにはヨウ素試薬で陽性を示すデンプンが含まれていません。
- (○) リンドウとセンブリは共に同じ科に属する植物で、それらから調製される生薬は共に辛味性健胃薬
として用いられる。 共通して用いられるのは苦味健胃薬としてです。
- (○) 神農本草経の下薬に記載されている生薬は君薬とも呼ばれ、連用してもよい保健薬とでも言えるものである。
下薬ではなく上薬のことを説明しています。
- () アカヤジオウの根を水に入れたときに沈むものが最上品とされている。
- (○) 生薬サフランは苦味が少なく、芳香の強いものほど品質が良いとされている。
古くて鮮度が落ちると成分が変化(加水分解)して苦味が少なく、芳香の強いものになります。

問3 次の生薬名の読み方を()内にカタカナで答えなさい。

柴胡 (サイコ) 烏頭 (ウズ) 茴香 (ウイキョウ)
地黄 (ジオウ) 蒼朮 (ソウジュツ) 川芎 (センキュウ)
白朮 (ビャクジュツ) 山梔子 (サンシシ) 紅花 (コウカ)
附子 (ブシ)

普段使わない、また見慣れない名前が生薬名にはあるので、読み方だけでもしっかりと覚えておけば調べる時に便利です。

令和3年度日本民間生薬検定試験問題-2 【講師級】 (令和4年2月23日実施)

受験番号 _____ 氏名 _____

問4 次の植物について、その薬用部分を下記の①～⑩より選び、()内に、また調製される生薬名を下記より選び、【 】内に答えなさい。

トチバニンジン (③) 【 竹節人参 】
センブリ (⑩) 【 当薬 】
オタネニンジン (②) 【 人参 】
ホソバオケラ (③) 【 蒼朮 】

- ① 葉 ② 根 ③ 根茎 ④ 柱頭 ⑤ 管状花
⑥ 果実 ⑦ 果皮 ⑧ 種子 ⑨ 種皮 ⑩ 全草

五味子、 人参、 川芎、 当帰、 当薬、 紅花、 白朮、
烏頭、 牡丹皮、 柴胡、 竹節人参、 蒼朮、 芍薬、 茴香、
ロートコン、 地黄

生薬は薬用部分が大切ですから、しっかりと覚えましょう。センブリは全草を薬用部分とする数少ない生薬の一つです。

問5 次の設問に答えなさい。

(1) トリカブトの根を温度、圧力と時間を調節してオートクレーブなどで減毒化して調製される生薬は何と呼ぶか？

解答 加工附子

トリカブトの根には猛毒性のアルカロイドが含有されており、この有毒成分を毒性の低い成分に変換して作られるのが加工附子です。

(2) 生薬「五味子」には5種類の味があると言われているが、その味とは何かを答えなさい。

解答 酸、甘、苦、辛、鹹(塩辛い)

生薬名の由来ともなっていますが、果皮と果肉は甘酸っぱく、核は辛くて苦く、全体として鹹味(塩辛い味)があります。

(3) 生薬「紅花」は一般に早朝に薬用部分を採取するが、その理由とは何か？

解答 朝露で刺が柔らかい

葉縁には鋭い鋸歯があり、また総苞片が刺状になっているので、朝露に濡れて柔らかい内に採取します。

(4) ハシリドコロの芽生えをある山菜と間違えて採取し、誤食による中毒事件が多く見られるがその山菜とは何か？

解答 フキノトウ

ハシリドコロの芽生えと山菜のフキノトウはよく似ているため、間違っ採り食べて中毒を起こすことが良く知られています。